

# 第29回 日本医学会総会 2015 関西

医学と医療の革新を目指して  
—健康社会を共に生きるきずなの構築—

会頭：井村 裕夫  
(京都大学名誉教授、元京都大学総長)

<学術講演>

会期：2015年4月11日(土)～13日(月)  
会場：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都  
京都大学百周年時計台記念館ほか



平成26年6月10日

日本医学会分科会各位

## 「第29回日本医学会総会 2015 関西」 学術講演の概要を6月9日からホームページに順次掲載

来年春に開催の「第29回日本医学会総会 2015 関西」は、公式ホームページ(<http://isoukai2015.jp/>)において、学術講演の概要を、6月9日(月)から順次掲載してまいります。

\*\*\*\*\*

学術講演では、「20の柱」を設定していますが(学術講演の特徴については下記をご覧ください)、公式ホームページでは各「柱」の背景やねらいについて担当のプログラム委員へのインタビュー形式で紹介いたします。また、各「柱」を構成するシンポジウム等の企画の表題、座長、演者についても同時に掲載していきます。

今後、毎週月曜日に「20の柱」を順次3つずつ公開していき、7月末にはすべてのインタビューを公開。学術講演の一部は一般の方々も参加できる「市民公開講座」となっており、今回公開する内容は一般の方にも医学・医療の今日的課題を理解できるように一問一答形式で編集します。

「第29回日本医学会総会 2015 関西」では、医学・医療従事者を対象にした事前参加登録を4月30日から開始しており、学術講演の内容の一部を公開することにより、参加登録を促進していきたいと考えています。

■公式ホームページ：<http://isoukai2015.jp/>

■学術講演の特徴：

～健康社会を築くため、横断的な「20の柱」をつくり議論！～

今までの医学会総会では分科会からの専門的演目の提案をベースにしていましたが、今回は分野横断的な議論を行うことを目的に、プログラム委員会が基本理念・メインテーマに基づいた「20の柱」を設定し、全体を構成しました。その中には、少子超高齢化に対応する医学・医療のあり方や、iPS細胞などの最先端医療技術、IT(情報技術)を導入した医療の未来像に関する今日的話題も含まれています。

また、今回は初めて一般市民をはじめ、企業、行政が参加できるプログラムを多数、設けており、多方面からの参加と活発な議論が期待されます。

# 第29回 日本医学会総会 2015 関西

医学と医療の革新を目指して  
—健康社会を共に生きるきずなの構築—

会頭：井村 裕夫  
(京都大学名誉教授、元京都大学総長)

<学術講演>

会期：2015年4月11日(土)～13日(月)  
会場：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都  
京都大学百周年時計台記念館ほか



インタビューの掲載スケジュールは次の通りです。

## ■インタビュー掲載スケジュール(予定)

HP掲載日	柱番号	表題	柱分類	インタビュー先	
6月9日	③	先制医療(個の視点からの予防医学)	医学	京都大学大学院教授	高橋良輔
6月9日	⑱	チーム医療の新しい展開	きずな	滋賀医科大学教授	寺田智祐
6月9日	⑬	在宅医療を含んだ慢性期医療	医療	和歌山県立医科大学教授	伊東秀文
6月16日	⑯	死生学(終末医療、臓器移植、緩和医療)	きずな	京都府立医科大学教授	大辻英吾
6月16日	⑩	医療技術の評価(ヘルステクノロジーアセスメント)と医療資源の配分	医療	京都大学大学院教授	川上浩司
6月16日	⑦	サイエンスから見た心の問題・心の発達	医学	近畿大学教授	楠 進
6月23日	⑮	効率的な医療人養成制度	きずな	大阪大学大学院教授	金倉 譲
6月23日	⑰	医学生企画	きずな	京都大学大学院教授	中山健夫
6月23日	①	トランスレーション科学の振興	医学	大阪大学大学院教授	金倉 譲
6月30日	②	臨床研究の推進	医学	和歌山県立医科大学教授	山上裕機
6月30日	⑥	環境変化と健康	医学	関西医科大学教授	岡崎和一
6月30日	⑫	周産期・小児医療の課題	医療	京都大学大学院教授	小西郁生
7月7日	⑪	医療とIT	医療	滋賀医科大学教授	寺田智祐
7月7日	⑭	グローバルヘルス	医療	関西医科大学教授	岡崎和一
7月7日	⑨	日本の医療・介護制度を考える	医療	京都府医師会副会長	安達秀樹
7月14日	⑱	震災に学ぶ	きずな	京都府医師会副会長	安達秀樹
7月14日	⑧	基礎医学からの提案	医学	大阪市立大学大学院教授	広常真治
7月14日	④	再生医療	医学	京都大学 iPS細胞研究所教授	戸口田淳也
7月22日	⑳	移行医療(transitional medicine)	きずな	滋賀医科大学教授	堀江 稔
7月22日	⑤	リハビリテーションのこれから	医学	大阪医科大学教授	佐浦隆一